



# 学校の危機管理

安心・安全の市民メッセージ

## 携帯メールが つなく危機管理

北小学校PTA副会長  
山本隆之さん(山北)



昨年10月から不審者情報の提供をメールでも始めました。教育委員会などから

入った情報を、学校がこれまでの連絡網に加えて、希望する保護者(約7割)にメールで配信する仕組みです。近年急速に普及しているパソコンや携帯電話の特長をいかそうとPTAと学校が協力して行っています。

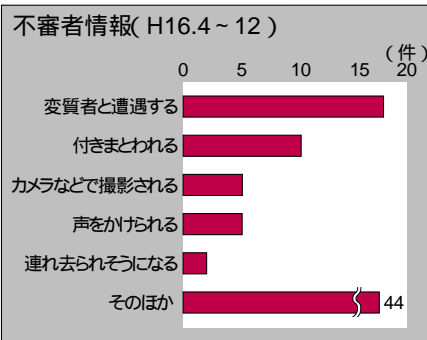
私のように夫婦とも仕事を持つ人にはいつでも、どこでも入ってくるのでありがたいですね。同じ情報でも、文書よりもメールの方が印象に残る気がします。また、いつ、どこで、何が起こったのか、という具体的な情報なので、親として子どもに伝えるべきことを的確に知ることができます。

情報の配信では、学校の先生にお世話になっています。当初は時間がかかったようですが、今では情報が10分後には送信できるようになっているそうです。

津山のまちから「安全」が逃げ出さないよう、今後も私たちにできる未然防止に取り組んでいきたいです。

## 携帯電話を使った不審者情報提供システム

「ブブー」。小学生の娘を持つ親の携帯電話に学校からのメール。「中学校区で登校中の女子生徒が30代ぐらいの男に声をかけられ、後ろから追いかけられた」全国で子どもをねらった犯罪が相次ぐ中、市内の小学校数校では、希望する保護者に不審者情報を配信しています。学校や保護者が、日ごろから地域の安全に関する情報を共有することで犯罪を未然に防止しようと、独自の危機管理に取り組んでいます。昨年、教育委員会に寄せら



れた不審者情報は年末までに83件。小・中学生が変質者に遭遇したり、付きまとわれたりするなどの被害が出ています。魔の手はもはや新聞やテレビの出来事ではなく、身近な存在となっているのです。

## 各校に整備される危機管理体制

犯罪の未然防止に向けた取り組みは、学校の危機管理体制を構築するうえで重要な役割を担っています。また、各校では最悪の事態を想定した手順書「緊急対応マニュアル」を作成しています。不審者だけでなく、地震や伝染病など子どもや教職員の身に危機が降りかかったとき、いつでも迅速に対応できるように準備しています。

学校の危機管理についてのお問い合わせは、市教委学校教育課 021-2115へどうぞ。